

Re:ゼロから始める異世界生活 第1期 第1話

タイトル: 始まりの終わりと終わりの始まり

キャラ リスト:

ナツキ・スバル、エミリア、パック、フェルト、ロム、エルザ・グランヒルテ、カドモン・リッシュ、ガストン、ラチンス・ホフマン、カンバリー、プラム・リッシュ、ラクシャ・リッシュ、男性たち、女性たち

Japanese script from Kamigami (kitsunekko.net)

English translation from Gogoanime subtitles

Transcribed and organized by Kiriban

Do not ask for permission to edit. Please read my [FAQ](#) for more usage details.

スバル やばい...これは本気でやばい...。

エミリア スバル? どうかしたの?

スバル まあ、なるほど。ここで引きの。

ダメだ...逃げろ...速く...。

あつ...。

ハア...。

エミリア ああっ!

スバル やっぱ納豆はねえな。

待っている...。

店員 363円です。

スバル (考え) おっ...ギザ十。

俺が...必ず...おまえを救ってみせる。

まあ、一日部屋に閉じこもってゲームやってりゃ、目も疲れるわな。

あつ...。

(考え) どうなってんだ？

(考え) どう見ても作り物じゃねえよな...ってことは...

ハッ...つまりこれは、ひょっとして、異世界召喚ってやつ～？！

フェルト イヒヒヒッ！ヒヒッ！

イヒッ！

スバル ファンタジー異世界と仮定して、文明はお約束の中世風ってとこか...

亜人ありありの世界観で、たぶん戦争とか冒険ありあり。そしてこの世界で俺は...

通行人たち きゃああ！

おい！

スバル あっ...

通行人たち 危ない！

スバル 来た...俺のターン来た～！これはおそらく初めての魔法発動イベント！はあっ！

騎士 危ない！

ハハハハッ！

通行人たち おう！できた！

よくやった！

スバル ハア...

魔法使うにはちょっと早かったなあ...

(考え) 読めねえ。

カドモン お兄ちゃん。

スバル あっ...

カドモン 変わった格好してんなあ。旅の途中か？

スバル これは…。

カドモン そいつはリングだ。

スバル (考え) だが言葉は通じる。問題は…。

カドモン ああ？どこの国の金だ？んなもんルグニカじゃあ使えねえ。

さてはてめえ一文無しだな？あっち行け！商売の邪魔するんじゃないや～！

スバル 仕方ねえ。ここはまず地道に情報収集か…。

女性たち きゃああ！

スバル ああ…。

店員 ここは亜人専門店だ。

スバル ああ…。

いって！ま…前が…。

どっ…うわああ！

スバル なんか話違わねえ？異世界召喚じゃねえのかよ！俺の主人公設定はどこ行ったんだよ！

ったく…。

携帯は無事か…。

って携帯持ってる意味ねえ！

だいたい初期装備貧弱すぎだろう！もうちょっと福利厚生充実しないと、俺みたいなゆとりは納得できないよ！エクスカリバーの一つも持ってねえし！

ううっ…つかそもそも召喚ものなら俺を召喚した美少女どこよ？まさか召喚しておいて放置？

あっ…おっ、やっと来たか！俺のこと召喚した美少女…か…。

カンバリー てめえ何ぶつぶつ言ってんだ？

ラチンス 痛え思いしなくなかったら出すもん出しな！

スバル やべ、強制イベント発生だ…。

フェルト どけどけ～！

スバル あっ…。

フェルト そこのやつら、邪魔！

スバル 来た！今度こそ召喚した美少女本人か！

フェルト ううっ…召喚？なんか知んねえけど私忙しいんだ！ごめんな！強く生きてくれ！ヘッ！

スバル って…えっ！えーっ！

一同 ああ…。

スバル 今ので毒気が抜かれて気が変わったりしませんかね。

ガストン むしろ水差されて気分を害した。

スバル ですよねえ！

(考え) だが落ち着け、菜月スバル。古来より異世界に招かれた人間は超常の力を発揮するのがお約束！

(考え) バタバタなぎ倒して、俺の輝かしい未来の糧にしてやる！

経験値共め！

ガストン ああっ！

カンバリー あああっ！

スバル 初めて人殴った！思ってるこっちも痛い！だが、やっぱりこの世界だと俺は強い設定か！

アドレナリンだまだまでこれももらった！

ラチンス はあっ！

スバル すみません！俺が全面的に悪かったです！許してください！命だけは！

ラチンス ヤフー！

スバル ああああっ！あああっ！あああっ…。

ガストン んっ…ううっ…。

カンバリー ふざけてマネしやがって、この！

一同 ふんっ！

ううっ！

こらあっ！

ラチンス 楽に逝けると思うなよ！

スバル あああっ...ううっ！ううっ...くっ...ううっ....。

ラチンス うああっ....。

エミリア そこまでよ。

ラチンス えっ？

ガストン、
カンバリー ん？

スバル ああっ....。

ラチンス 何だ、てめえは！

エミリア 今なら許してあげる。だから、潔く盗んだものを返して。

スバル あっ...ああっ....。

ガストン 盗んだもの？

エミリア お願い。あれは大切なものなの。ほかのものなら諦めもつくけど、あれは絶対にダメ。いい子だからおとなしく渡して。

ガストン こいつを助けに来たわけじゃねえのか？

エミリア 変な格好の人ね...私と関係あるのか聞かれたら、無関係って答えるしかないわ。

ガストン だ...だったら俺ら関係ねえ！何か盗まれたってんなら、さっきのガキだ！

カンバリー そだ！あっちだ！あっちに逃げてった！

エミリア ううん...嘘じゃないみたい。早く追いかけないと！

んっ....。

一同 ハア....。

エミリア でも、それはそれとして...見過ごせる状況じゃないな。

ガストン うわっ！

ラチンス ああっ！

カンバリー あっ！

ラチンス 魔法？ふざけやがって...魔法使いだろうが何だろうがぶっ殺す！二対一で勝てっと思ってんのか！ああ？！

エミリア そうね。二対一は不公平かも。

パック じゃあ、二対二なら対等な条件かな。

 ニャ？

ガストン せ...精霊術師か？

エミリア ご名答。今すぐ引き下がるなら追わないわ。すぐ決断して。急いでるの。

ラチンス くそ尼！次に会った時はただじゃおかねえからな！

パック この子に何かしたら末代までたたよ？その場合君が末代なんだけど。

ガストン ううっ...。

ラチンス あっ...んっ！

スバル ああ...助かった。ありがとう。

エミリア 動かないで。

スバル あっ...。

 あっ...ああ...。

エミリア ほら！やましいことがあるから目をそらしたんだ。私の目に狂いはないみたいね。

パック どうかな？今のは健全な男の子的反応ってだけで邪悪な感じはゼロだったけど...。

エミリア パックは黙ってるの。

 あなた、私から徽章を盗んだ子を知ってるでしょう？

スバル あっ、いや、悪いけど、全然全くこれぼっちも知らない...。

エミリア ううっ…。

スバル あっ…。

エミリア えっ？やだ。嘘。

まさか、本当にただ回り道しちやっただけ？

スバル フッ…早く追いかけた方がいいよ、お嬢さん。

なんなら手伝っ…。

パック あ～あ、無理して立つから。どうしよっか？

エミリア 関係ないでしょ？死ぬほどじゃないもの。放っておくわよ。

パック ホントに？

エミリア ホントに！

パック そんなこと言って助けるんじゃない？

エミリア 助けない！

パック またまた…。

エミリア 絶対の絶対！助けたりなんかしないんだから！

スバル (考え) 怒った顔もすげえかわいいな…さすが異世界ファンタジー…。

スバル ああ…これは、膝枕？

エミリア あっ…目が覚めた？

スバル なんか美少女って思ったよりも毛深いんだね。ってそんなわけあるか！

うわあっ！

パック せめて目が覚めるまで幸せに過ごさせてあげようという粋な計らいだよ！

スバル とりあえずその裏声やめて！猫とヒロイン間違えるとあり得ないから！

パック いや～、こんなに喜ばれると僕もわざわざ巨大化した甲斐があるよ！

スバル 喜んでねえし！

あつ…。

パック アハハハ…。

スバル なんか悪かったな。結局目が覚めるまでつきあってくれたみたいで…。

エミリア 勘違いしないの。聞きたいことがあるから仕方なく残っただけなんだから。あなたの体の傷を治してあげたのも、目覚めるまでパックを枕にさせてあげたのも、私のためだったの。だから、その分に答えてもらうんだから。

スバル 恩着せがましい感じを演出しつつ、普通のお願いじゃねえ？

エミリア そんなことはない。あなた、盗まれた徽章には心当たりあるでしょう？

スバル 徽章？徽章っていやあ身分を表すバッチみたいなもんだっけ…。

エミリア 真ん中に宝石が埋め込まれていて…このぐらいの大きさなんだけど…。

スバル ごめんだけど、何回聞かれても心当たりはないかな。

エミリア そう。それじゃ仕方ないわね。でもあなたは何にも知らないって情報を私に教えてくれたわけだから、ちゃんとけがを治した分の話はしたものね。

スバル はあ？

エミリア じゃあ、急いでるからもう行くわね。けがは一通り治ってるはずだけど、次からは人気のない路地に一人で入るなんて危ないことはするべきじゃないわね。あつ、これは心配じゃなくて忠告。次に同じような場面に出くわしても、私があなたを助けるメリットがないもの。だから、期待しちゃダメだからね？

パック ごめんね。素直じゃないんだよ、うちの子。変に思わないであげて？

スバル 素直じゃないって…そんなレベルじゃねえだろう？大切なもん盗まれて急いでんのに、俺のこと助けてくれて、おまけに見ず知らずの俺に負い目に感じさせないように、下手くそすぎるフォローまでして…。

そんな生き方…

んっ…ううっ！

…めちゃくちゃ損するばっかじゃねえか！

おい、待ってくれよ！

エミリア なに？言っておくけど、これ以上は私もちよっとしかつきあってあげられないから…。

スバル 若干甘さ見えてるけど…ああ、それより大切なもんなんだろう？俺にも手伝わせてくれ。

エミリア でも、あなたは何も知らないって…。

スバル ああ、少なくとも顔は覚えてる！もう一度見ればわかる！

エミリア んー…変な人。言っておくけど、何のお礼もできません。

スバル お礼なんていらぬ。俺が君に礼をしたい。だから手伝いたいんだ。

エミリア お礼をされるようなことしてない！

 言ったでしょ？傷のことならちゃんと対価はもらってるんだから。

スバル なら…俺も俺のために君を手伝う。俺の目的は…そうだな…うん！一日一善だ！

エミリア ああ…んー…。

パック 悪意は感じないし素直に受け入れてもいいと思うよ？暴漢相手の弾除けは多い方がいいしね？

スバル ってそんな物騒な役割かよ！

エミリア でもホント、何のお礼もできないからね？

スバル ああ、大丈夫！俺に任せとけ！

スバル でかい口たたいたけど、この町って捜し物するには広すぎねえ？

エミリア ルグニカ王国の王都だもん。そんなことも知らなかったの？えっと…。

パック そういえばお互いまだ名前も聞いてないよね。自己紹介しておく？

スバル そういやそうだな。じゃ、ここは俺から名乗らせていただこう。

 俺の名前はナツキ・スバル！無知蒙昧にして天下不滅の無一文！よろしく！

パック それだけ聞くともう絶体絶命だよね。うん。

 そして僕はパック！よろしく～！

 んっ…エへへ…。

エミリア 精霊とこんなに気楽に接する人なんて、ホント珍しい。どこから来たの？

パック ヘッ…。

スバル まっ、パターンからすると東のちっさい島国だな。

エミリア ルグニカは大陸図で見て一番東の国だから…この国より東なんてないけど…。

パック ハッ…。

スバル 嘘！マジで？東の果て？

エミリア 今、自分のいる場所がわかってなくて、お金も持ってなくて、字も読めなくて頼れる人もいない。ひょっとすると私より危ない立場なんじゃ？えっと…スバルって…。

スバル あっ…お…おう！イエス、俺の名前。

パック でも、こうしてみると、結構体鍛えてるみたいだね。

スバル 毎日筋トレだけはね。まっ、自宅の守人引きこもりとしては、そんぐらいは当然ってもんだ。

エミリア その引きこもりってのはよくわからないんだけど、スバルって、かなりいい家柄の出でしょう？

スバル えっ？ああ、ちょっ…！

エミリア この指もそうだけど、とてもきれい。庶民とは暮らしが違いすぎる手だもの。

筋肉の付き方も仕事でついた感じじゃないし。

スバル あっ…あっ、そういえば、飼い猫の名前は聞いたけど、君の名前は聞いてなかったな。

エミリア 私の名前？

スバル うん、そう。

エミリア 私は…サテラ。

スバル おっ？

パック うわっ…！

エミリア 家名はないの。サテラと、そう呼ぶといいわ。

スバル そうか…サテラか…いい名前だ！

エミリア えっ？

パック ハア...趣味が悪いよ。

スバル んじゃあ、聞き込み再開といこうぜ！

エミリア ねえ、スバル...あの子、迷子になってる気がしない？

スバル えっ？

プラム ううっ...。

スバル いや、だから聞き込みは...。

エミリア それも大事だけど、迷子だったらなんとかしてあげないと。

プラム ううっ...うっ...。

スバル 助けられた俺が言うのもなんだけど、今の置かれてる状況とかわかってる？

エミリア でも...あの子は今泣いている！そうでしょ、スバル？

スバル あっ...。

エミリア つきあいきれないっていうならそれでもいい。ここまでありがとう、スバル。

 後は自分でなんとかしてみるから。あの子、どうにかしてあげてから。

スバル ううっ...。

プラム うわあ！うっ...。

エミリア 探してた相手じゃなくてごめんね。

 ねえ、どうしたの？お父さんかお母さんは？一緒じゃないの？

 えっと...その...泣かないで！お姉ちゃんはあなたに何もしたりしないから。

スバル ここに取り出しましたるは、一枚のギザ十にございま〜す！

エミリア えっ？

スバル さ〜て、これをぎゅっと手で握りつぶしてやります。

 ぐっぐっぐっとな！するとあら不思議！

プラム あっ...えっ？

スバル エヘッ…。

はい、消えたコインはこんなところにおりました。

プラム うわ～！

スバル プレゼントしてあげよう。貴重品だから大事にしてね。

プラム ああ…うわ～！ありがとう！

スバル そっか…お母さんとはぐれちゃったのか。なに？大丈夫大丈夫！

お兄ちゃんとお姉ちゃんに任せとけて！すぐにばしっと見つけてあげっからな！

こうしてるとは…何も知らない人たちからは若夫婦とその子供みたいに見える気がしない？照れるな。

エミリア ひいき目に見ても、スバルとこの子が兄妹にしか見えないと思うけど。

スバル なんで俺がそんな年下！

プラム ああ！

スバル あっ…。

プラム ママ～！

ママ！

スバル 見つかったみてえだな。

エミリア うん。よかった。

スバル それで？だいぶ遠回りになっちゃった気がすっけど、そこんとお姉さんの的にはどんなメリットがあったんだと主張するんでしょうか？

エミリア 簡単よ。これで私たちは気持ちよく、捜し物の続きができるでしょう？

それより、どうして手伝ってくれたの？スバル反対してたのに。

スバル 手品を見せびらかしたかったってと嘘になんね。

言っただろう？君の徽章探しを手伝って、俺は一日一善！

エミリア じゃあ、女の子を助けてあげられたから、もう一善はすんだじゃない？

スバル 正論すぎる切り返し！ああいや、ほら、いいことは一日に何回やってもいいじゃん？明日の分の前倒しだよ！今週のノルマを先に消化しちゃう腹づもりだよ！

エミリア スバルって、すご〜く損する性格してるのね。

スバル ほかの誰でもなく君にだけは言われたくねえな。

エミリア 悪い子じゃないのよね。

スバル だからなんで年下扱い？俺と君ってそこまで年の差ないと思うぜ。

エミリア その予想、当てにならないと思う。私、ハーフエルフだから。

スバル あっ...ああ...。

 なるほどな。道理で、かわいいと思った！エルフは美人ってのお約束だもんなあ！

エミリア えっ？

スバル おっ？どったの？

エミリア どうしたのっていうか、あのほら、私、ハーフエルフ...。

スバル 聞いたよ？

エミリア あっ...んっ...。

スバル ん？

パック ううう...ヘイ！

スバル って急になにすんの？

パック なんとなく耐えがたいむずむず感を形にしたくて！

スバル そんな理由じゃ殴られた側納得いかねえよ。ぷりぷりだったから許すけど。

パック 僕も別に怒って叩いたわけじゃないよ！どちらかという逆だね！

エミリア もう...スバルのおたんこなす！

スバル おたんこなすって今日日聞かねえな。そしてなぜに俺は罵倒されてるの？

エミリア ふんっ！知らない！それより、捜し物の続き、始めなきゃ。

スバル なあ、待てって！ノープランで動き回ってもいい結果はついてこない。ここは捜査の基本だ。

エミリア 捜査の基本？

スバル そう、現場百回ってやつ。その徽章はどこらへんで盗まれたんだ？

 そんなわけで、どうやら現場はこのあたりだったらしく、俺に任せろと勇ましく宣言して戻って参りました果物屋。

カドモン 何だ？客かと思ったらまたお前かよ、一文無し。

スバル いいのかよ、そんな態度で？さっきの俺と違うことに気づかないのかい？

カドモン なに～？

スバル どうだ？連れだぜ、連れ。お得意様候補連れてきてやったんだぜ？

エミリア あの、スバル...変に期待してくれてるんだけど、私もお金、持ってないわよ。

スバル で？あれ？マジで？

エミリア エヘヘ...。

カドモン で、無一文が二人になっただけの状況で何が言いたかったんだ、兄ちゃん？

スバル 実は人を探してたんだけど、ちょっとお話聞かせてもらえないかな的な...。

カドモン 文無しにつきあってらんねえって皮肉言ってるんだよ！帰った帰った！

プラム お兄ちゃん！

スバル ああ...。

カドモン ん？

プラム エヘッ！

ラクシャ 先ほどはどうも。

スバル なんでまたこんなところに...。

ラクシャ 主人のお店なので、ちょっと立ち寄ったんですよ。

カドモン ううっ...。

スバル 主人？

ああ…。

プラム エヘツ…。

カドモン おっ…。

プラム エヘツ…。

カドモン おー、よしよし。

それよりおまえ、この文無し二人と知り合いか？

ラクシャ この子が迷子になったのを、見つけてくれたんですよ。

カドモン ううっ…。

スバル アハハ…。

エミリア お姉ちゃん、はい！

あっ…。

ラクシャ もらってあげてください。娘なりにお礼がしたいと思ってるみたいなので…。

エミリア ありがとう。

ウフ…。

プラム エヘヘ…。

カドモン コホン…。

スバル あっ…。

カドモン すまなかったな。娘の恩人だ。礼がしたい。

エミリア あっ…。

カドモン 何でも聞いてくれ。

スバル あっ…！

エミリア フツ…。

スバル あっ…。

エミリア ほらね！ちゃんと巡り巡って、私たちのためになったじゃない？

スバル 空気と雰囲気と、あとたぶん住んでる人間の性格も悪そう。本当にここにいるのか？

カドモン (過去) ひょっとしてフェルトのやつかもしれねえな。金髪のはしっこい小娘だろう？

(過去) 貧民街じゃあ有名だ。住んでる場所までは知らねえがな。

エミリア 聞けば教えてくれるかしら。

パック 誰も自分たちの仲間を売ったりしないから、聞いても無駄だと思うけど。

スバル 出直した方が賢明か…。

パック 進むにしても戻るにしても決断は早めにね。僕はそろそろ時間切れだ。

スバル なにそれ？時間切れ？

パック 僕はこんなかわいい見た目だけど精霊だからね。表に出てるだけで結構マナを使っちゃうんだ。

だから夜は依り代の結晶石に戻ってお天道様が出てる間に備えてるんだよ。

まあ、平均的には、9時から5時が理想かな。

スバル 9時5時とか公務員みてえだな。精霊の雇用形態も案外シビア。

エミリア パックがいなくても大丈夫。ここは進むしかない。

パック だよね。でもごめん。僕もう限界だ。

スバル なんか死にそうな消え方すんだな。

エミリア 無理させてごめんね、パック。後は私たちが頑張るから、ゆっくり休んで。

パック んー…くれぐれも無茶しないように。いざとなったらオド使って僕を呼び出すんだよ。

エミリア うん。

パック それじゃあ、後は頼んだよ、スバル。

スバル おおっ…。

ほお…。

おいおい…女の子と二人きりなんて小学生以来のシチュエーションだ…。

エミリア 変なこと考えちゃダメだからね。魔法は使えるんだから。

スバル 考えねえよ！

それより、ここからどうやってフェルトを見つけ出すかだ。

エミリア 微精霊に聞いてみる。

スバル 微精霊？

エミリア 微精霊っていうのは、まだ精霊になる前の存在のこと。時間が経って成長して、力と自意識が芽生えると、パックにみたいな立派な精霊になるの。

スバル ん？

あつ…。

ああ…。

エミリア どんどん寂しくなってくる。

スバル 本当にこんなところに住んでるのか？

エミリア 微精霊は、こっちの方角にフェルトに似た人が入っていくのを見たって言ってたんだけど…。

スバル よお、兄弟！この先フェルトって娘の家であってる？

男性 ああ？フェルト？

スバル あつ…。

男性 この先にあるのは、ロム爺の盗品蔵だけだ。

ハハ…さては兄ちゃんたちフェルトに何か盗まれたか。まっ、上手く交渉して買い戻すんだな。強く生きろよ。

スバル、
エミリア あつ…。

エミリア 盗まれた物を返してもらうのに、どうしてお金払わなきゃいけないのかしら。

スバル まっ、とにかくここは俺に任せてくれ。なんとか交渉してみる。

エミリア わかった。スバルに任せてみる。

スバル やけに素直に任せたな。

今までの流れだと、「あなたみたいな役立たずに任せる？へそで茶が沸いて鼻が大爆笑しちゃうわ」的な発言に俺が傷つきつつも、決意を新たにする展開だぜ。

エミリア そんなひどいこと私言わないわよ！確かに、スバルに足を引っ張られてないって言ったら嘘になっちゃうけど。

スバル 嘘になっちゃうのかよ！

エミリア でも...スバルを信じてみる。

スバル あっ...。

エミリア うまくいったら儲けものぐらいの気持ちで。

スバル そこは上目遣いで、「私のために頑張って」ぐらい言ったほうがやる気出るぜ。

エミリア そんな無理になんて言えないもの。でも...頑張る。

スバル フッ...うん、頑張る。

俺が先に入るから、君は外見張ってて。帰りは遅くならないけど、先にご飯食べてていいよ。

エミリア バカなこと言ってないの！気をつけてね。

スバル ういうい。サテラも俺が声かけるまで入ったらダメだぜ。

どったの？

エミリア う...ううん、なんでもないの。

徽章を取り戻せたら、ちゃんと謝るから。

スバル お邪魔しま～す...。

さって、鬼が出るか蛇が出るか...ファンタジーだとどっちも冗談じゃすまねえな。

これ全部盗品かよ...つか、なんで誰もいねえんだ？盗品扱ってて不用心にもほどがあるだろ...。

あっ...んっ...。

ああっ...ハッ...。

ハッ！ あっ…。

ハッ！

エルザ ああ、見つけてしまったのね。

スバル あっ…！

エルザ それじゃ仕方ない。ええ、仕方ないのよ。

スバル ハッ…ああっ！

くっ…くうっ…あ…熱っ…。

(考え) やべえ…これ全部俺の血かよ！

ぐっ！

(考え) ヤバイ…これは本気でヤバイ！

んっ…。

エミリア スバル？ どうかしたの？ スバル？

スバル ダメだ…逃げろ…早く…。

ハッ…くっ…。

待っている…俺が…必ず…お前を救ってみせ…！

カドモン どうしたよ、兄ちゃん？ 急に呆けた面して。

スバル はあ？

カドモン だからリングだよ、リング！ 兄ちゃん金は持ってんのか？

スバル はあ？

カドモン はじゃねえよ！ リング！ 買うのか？ 買わねえのか！

スバル ああ、いや、だから俺、天魔不滅の一文無しだって…。

カドモン っだよ！ ただの冷やかかしなら行った行った。

こっちゃ商売してんだ！冷やかしには付き合ってもらえん！

スバル どういうこと？さっきまで夜だったよな…。

ハッ…腹の傷、ねえな…。

あっ、そうだ！サテラ！

サテラを頼むってパックに言われたんじゃないかよ、俺！とにかくあの店に戻らねえと！

んっ…あっ…。

あっ…。

カンバリー おいおい、呆けた面してどうしたよ？

ラチンス 痛え思いしたくなきゃ出すもん出しなあ。

スバル お前ら俺が一人と見てさっきの仕返しかな？

ラチンス はあ？何言ってんだ、お前？

カンバリー 頭おかしいじゃねえのか？

ガストン いいさ、兄ちゃん。とりあえず持ち物全部置いてけ。それで勘弁してやっから。

スバル ああ、はいはい、持ち物全部ね！急いでっからそれでいい、本当！

カンバリー あと犬の真似な！四つん這いで犬の真似して、助けて下さい～いって鳴けよ！

スバル ううっ…調子乗んなや、コラ！

ラチンス ああっ…。

んっ…。

スバル おらあ！

カンバリー ギャッ！

ガストン んっ…ううっ…。

スバル おっと！

ガストン んっ！うっ！ううっ！

スバル 不登校児の有り余った時間なめんな！日々特に理由もなく木刀振って鍛えた俺の握力は、70キロオーバーだぞ！

ガストン うっ...ううっ...。

スバル こっちは急いでんだ！二度と邪魔すんじゃねえ！

スバル ビビんな...ビビんな、ビビんなよ、俺！

んっ...ううっ...。

うっ...ううっ...。

(考え) 馬鹿か、俺は！ここまで来て答えを見ないで帰れるもんかよ！

誰かいますか？

誰か...誰かいるんだろ！頼むよ！返事してくれ！頼む！

あっ...。

ロム じゃっかましいわあ！合図と合言葉も知らんで扉をぶっ壊す気か！

スバル あっ...ううっ！

ロム んー？

スバル アンタ...。

ロム

スバル

ロム なんじゃ？さっきからもじもじしおって...キンタマの位置がそんなに気になるか？

スバル 息子のポジション気にしてるわけじゃねえよ！つか、下から話に入るな！

ロム 人の晩酌の邪魔しおって...。

これでつまらん用事ならひどいぞい。

スバル 日のあるうちから飲んでんじゃねえよ。早死にするぞ。

あっ、つか、馬鹿げた話なんだが...

ロム ああ？

スバル ... 爺さん、最近死んだことないか？

ロム んー？

ウハハハ！確かに死にかけのジジイなのは認めるが、生憎と死んだ経験はまだないぞ。

スバル あっ、じゃあ、銀髪の女の子を見なかったか？

ロム 銀髪？いや、そんな悪目立ちするモンは見とらん。

スバル (考え) 全部夢だったのか... だったらどっからどこまでが夢で、俺はどうしてこんな世界にいるんだよ...。

ロム で、おまえさんはいったい何の用でここに来た？

スバル ああ、俺は徽章を探してる。俺を助けてくれた銀髪美少女の持ちもんだ。理由は知らんけど大切なもんなんだと。たしか、真ん中に宝石がはめ込まれてるって言ってた。

ロム 宝石の入った徽章... 悪いがそんな品物は持ち込まれておらんぞ。

スバル 本当にか？よく思い出せよ！ボケてんじゃねえのか、ガタが来て！

ロム 酒が入って絶好調の今で思い出せんなら知らんと言えんな。じゃが... 今日はこのあと、持ち込みの約束があつてな。前もって上物と聞かされとる。お前さんの探し物の可能性は十分あるじゃろな。

スバル 持ち込むのはひょっとしてフェルトって子か？

ロム なんじゃ？盗った相手の名前までわかつとるのか？じゃが、お前さんがそれを買取れるかどうかはまた別の話じゃぞ？

スバル ハッ...いくら足下見ても無駄だぜ？なにせ俺は万夫不当の一文無し。

ロム 話にならんじゃろうが...。

スバル いいや、この世には物々交換って手がある！

ロム ん？そういえば、お前さんなにやら珍しいもの持っとるな。

スバル おうよ。たとえば、これはコンポタスナック。超美味えんだぞ！

ロム 食べ物か！

ん？

なるほど！不思議な味！酒にも合う美味し美味し！

スバル そうだろ、そうだろ？って、勝手に食ってんじゃねえ！

ロム まっ、何と交換するつもりか知らんが、フェルトが来てから出直してくるんじゃな。

う〜ん...うまうま！

スバル どこの世界でも金のあるヤツとないヤツがいるってことか...にしても、わかりやすいよなあ。

フェルト 兄ちゃん、何やってんだ？邪魔なんだけど。

スバル あっ...フェルト！

フェルト アタシのこと知ってんのか？

スバル 知ってるも何も、お前を待ってたんだ！

フェルト なんのために？

スバル って言うか、お前ってば俺のことひょっとして覚えてないか？

フェルト ああ...どっかで会った？でもかなり衝撃的な出会い方してねえと、アタシ暇じゃねえから覚えてねえよ。

スバル 衝撃的のっちゃあ衝撃的だったが...まあ、それはいい。おまえの持ってる徽章のことで交渉がしたい。

フェルト うん...なんだ？そういうことか？だったら話は聞くぜ。ヘッ...。

ロム 大ネズミに...

フェルト ... 毒。

ロム 白鯨に...

フェルト ... 釣り針。

ロム 我らが貴きドラゴン様に...

フェルト ... クソツたれ。

待たしちまったな、ロム爺。意外としつこい相手でさ。まくの手間取っちゃった。

ロム ん？

スバル ああ？

フェルト おい、ロム爺、このミルク水入れて薄めてねえだろうな。マズイぞ。

ロム ったくもう！人が好意で出してやっ取るもんをマズイマズイって…。

フェルト ううっ…。

スバル なんか予想と期待以上に親しげだな、お前ら。置いてけぼりで寂しい。

フェルト ロム爺といい勝負の凶悪な面して女々しいこと言ってんじゃねえよ！

スバル 今まで色んなこと言われてきたけど、このジジイといい勝負させるか！

フェルト アハハ…さすがに今のは言いすぎたって、悪かったよ、兄ちゃん。

ロム お前さんら二人で結託してわしを怒らせにきたんじゃなかろうな？

フェルト じゃまあ改めて本題に入るとすっか？兄ちゃん、いくら出すんだ？

スバル っていきなりだな。その前に徽章は本当に持ってるんだろうな？

フェルト たりめえだろ？

 ほらよ。

ロム ん？

 んー…。

フェルト こっちは宝石付きのシロモンだ。しかもそれなりに苦勞して手に入れた。それに見合う額なら、お互い嬉しいよな？

スバル 金はねえ。

フェルト あっ…だったら話にならねえだろ！

スバル チッチッチッ…金はねえが、金に替えられるものがあるんだよ。

フェルト ん？

スバル ここに取り出しましたるは、万物の時間を凍結させる魔器…ケータイだ！

フェルト なんだ、こりゃ？

ロム 初めて見るな。

スバル 食らえ！秒間九発、連続撮影！

ロム ううっ！

フェルト うわあっ！なんの音！眩しいっつの！

ロム 貴様！わしを殺す気か！怪しげな真似しおってジジイをなめるでないぞ！

スバル 待て待て！

ロム ああ？

フェルト これって…。

ロム わしとフェルトの顔じゃな。どういう手品じゃ？

スバル 言ったろ？これは時間を切り取って凍結させる不思議なアイテム。

この道具でアンタら二人の時間を切り取って、この中に閉じ込めたってわけさ。

フェルト なるほど！そりゃスゲーな！

ロム 初めて見るが、これが噂に聞くミーティアというやつかの？

スバル ミーティア？

ロム 魔法使いのようにゲートの開いていないものでも魔法が使えるようにできるという道具の総称じゃ。

フェルト んなことより値段だ。このミーティアは売ったらどんなもんよ？

ロム さすがのわしもミーティアなんぞ扱うのは初めてじゃ。だが、この徽章より高額がつくことには間違いないじゃろう。

スバル なら決まりだ！このケータイと徽章を交換！はい、交渉成立！

うわ、ちょ！

フェルト いいや、まだだ。

スバル なんでだよ！

フェルト アタシの交渉相手は兄ちゃんだけじゃないってこと。

スバル はあ？

フェルト　　そもそもアタシがこの徽章をギッてきたのは頼まれたからなんだよ。これ一個で、聖金貨十枚と引き換えるって話でな！

スバル　　盗みの依頼が先約かよ...聖金貨十枚って相場がいまいちわかんねえけど...。

ロム　　お前さんが持ってきたミーティアなら、最低でも聖金貨二十枚。いや、それだけのモノならもっと出す好事家もおるじゃろう。

フェルト　　マジか！そりゃ吹っ掛け甲斐があるってもんだぜ！

スバル　　んで、その依頼人とはいつどこで会う？

フェルト　　心配すんな。交渉場所はここだ。アタシみたいな弱いのが一人で相手して、踏み倒されたりしたらかなわねえ。その点、ロム爺がいれば安心だかな。ヘッ！

一同　　あっ...。

ロム　　符丁は？

フェルト　　あっ、教えてねえよ。たぶんアタシの客だし見てくるわ。

　　んっ...。

スバル　　いいのかよ、あんな勝手ばっかさせて。

ロム　　まあ、知らん仲じゃないしの。付き合いも短くない。頼られてやるとするわい。

スバル　　つか、その文明人とは思えない姿にさすがのスバルくんも苦笑い...。

ロム　　こんな場所じゃ。どいつもこいつも自分が生きるのに必死でな。幼子が生きていくには似た境遇の子らと徒党を組んだりするのが常なんじゃが、フェルトはそれに向かん。なのでわしがフェルトを守ってやらねばならん。

スバル　　ああ...。

フェルト　　やっぱりアタシの客だったよ。

　　こっちだ。座るかい？

エルザ　　部外者が多い気がするのだけれど...。

フェルト　　踏み倒されたら困るかな？アタシら弱者なりの知恵だよ。

エルザ　　そちらのご老人はわかるのだけれど、こちらのお兄さんは？

フェルト　　この兄ちゃんはアンタのライバル。

アタシのもう一人の交渉相手さ。

スバル ああ…。

エルザ なるほど。事情は飲み込めたわ。

フェルト まっ、そんなわけで値段の釣り上げ交渉ってわけだ。別にアタシはどっちが徽章を持ってくるでも構わねえし、高い方に高く売りつけるさ。

エルザ いい性格だわ。嫌いじゃない。それでそちらのお兄さんはいくら付けたの？

スバル 俺が出すのはこのミーティアだ。

たぶん世界に一個しかないレアアイテム。

そこの筋肉爺さんの話じゃ、聖金貨で二十枚は下らないってお墨付きだぜ。

エルザ ミーティア…ウフ…。

実は私も、依頼主からある程度余分なお金を渡されているの。少しの上乗せも考える意味でね。

スバル 依頼主ってことは、エルザさんも頼まれただけってことか。

エルザ そうなるわね。欲しがってるのは依頼主の方。あなたひょっとしてご同業？

スバル 俺と同業ってことは無職ってことになるぜ！

フェルト で、その無職のお兄ちゃんは飛び出るような値段をつけた。アンタの飼い主はどんぐらいの値段が付けられるんだい？

うわっ！ ああっ…。

ロム んー…二十枚ちょうど。

エルザ 私が雇い主から渡されている聖金貨はこれで全部。少し厳しいかしら。

スバル ああ…。

ロム 男のくせにそんなみっともない顔するもんじゃない！ お前さんのミーティアは、聖金貨二十枚は下らんと言ったはずじゃ…。

スバル あっ…！

ロム わしの見立てじゃ、この交渉はこの小僧に傾く。お前さんと雇い主には悪いがその金貨は袋に戻して帰ることじゃな。

スバル あっ...くっ...んー...よっしゃ〜！

フェルト あっ...。

スバル な...なんだよ？いいだろ、別にガッツポーズぐらい！嬉しかったんだよ！

フェルト 別に何も言ってねえだろ？存分にはしゃげよ。アタシは儲かればそれでいいし。

スバル ああ、悪いな、エルザさん。たぶん怒られたりしちまうよな。

エルザ 仕方のない話よ。雇い主が支払いを少なく済まそうなんて考えなのが悪いのだし。

 それじゃ、交渉は残念な結果だったけれど、私はこれで失礼するわね。

 そういえば、あなたはその徽章を手に入れてどうするの？

スバル ああ、元の持ち主探して返すんだよ。

フェルト あっ...！

ロム ああ...。

スバル ああっ...。

エルザ なんだ...関係者なのね。

スバル うっ！ううっ...。

フェルト ううっ...。

スバル な...なにを！

フェルト バカ！死ぬ気か！

エルザ あら。

スバル、
フェルト あっ...。

エルザ 避けられてしまったわね？

スバル あっ...！

ロム うあおおっ！ううっ！うあっ！

エルザ 巨人族と殺し合うのは初めてよ。

ロム 抜かせ、小娘！挽肉にして大ネズミの餌にしてやるわ！

だあっ！うううっ！

うううっ！ううっ！ふんっ！

スバル ヤバイ！

フェルト 大丈夫だ。ロム爺がやられるはずがね！

ロム 食らえ！

だあっ！

ああっ…。

フェルト ロム爺！

ロム ううっ…く…くそ～っ！ううっ…。

エルザ 言い忘れていたけど…

ロム せめて相打ちに！

ううっ…ぐああっ…。

エルザ …ミルクごちそうさまでした。

ロム うううっ…うあああっ…。

エルザ これはお返しするわね？

フェルト てめえ…よくもやってくれやがったな…。

エルザ あら、あなたの方が勇気があるのね。

だけど手向かうと痛い思いをするかもしれないのだけれど。

フェルト 反撃しなくても殺す気だろうが…このクソ異常者が！

エルザ 動かれると手元が狂うかもしれないの。私刃物の扱いが雑だから。

フェルト 悪かったな、巻き込んでしまって。

スバル あっ...俺は...。

エルザ (考え) 風の加護。

フェルト うあああっ！

エルザ 素敵。世界に愛されているのね。あなた、嫉ましい。

スバル ハッ...！

エルザ お爺さんと女の子は倒れ、なのにあなたは動かない。諦めてしまったの？

スバル く...くそ...。

エルザ ああ、やっと立つのね。遅いしまらないけど、悪くはない。

スバル くっ...うおおおおっ！

エルザ でも全然ダメ。見たまま素人で動きは雑。加護もなければ技術もなく、せめて知恵が絞れるかと思えばそれもなし。

スバル うるせえな！意地があるんだよ！こんだけ...やられったらなあ！

エルザ 飛び抜けた奇骨だけは認めてあげる。それはもっと早くできていれば、この子達も少しは違ったかもしれないけど。

スバル くっ...あっ...。

ハッ...。

エルザ 終わりにするとしましょう。天使に会わせてあげるわ。

スバル ううっ...。

うらあっ！うらあっ！

エルザ ああ、今のは、とても感じたわ。

スバル あっ...おっ...。

エルザ 驚いた？すれ違いざまにお腹を開いたのよ。

スバル あっ...。

エルザ これだけは私、得意なの。

スバル うっ...くっ...。

エルザ ああ、やっぱり...あなたの腸は、とても綺麗な色をしていると思ったの。

スバル (考え) 痛い...痛い...痛い痛い...。

エルザ 痛い？ 苦しい？

スバル いや、痛くねえ...。

エルザ 辛い？ 悲しい？ 死んでしまいたい？

スバル (考え) 死ぬ？

(考え) 死んだのか？ まだ生きてる？ いつ死ぬ？ いつ死ぬ？

エルザ ゆっくり、ゆっくり、ゆっくり...。

スバル (考え) 怖い、怖い、怖い怖い怖い！

(考え) 死ぬ死ぬ死ぬ死ぬ死ぬ！

エルザ そう...ゆっくりと熱が失われて...ゆっくりと冷たくなって行って...。

スバル (考え) あっ...死んだ。

カドモン どうしたよ、兄ちゃん？ 急に呆けた面して。

お兄ちゃん、大丈夫か？

スバル もう、わけわかんねえ...。

カドモン あっ...。

スバル んっ...あっ...ああ...。

カドモン 大丈夫か、兄ちゃん？ お金はいらねえ。とりあえず、ほれ。

スバル ああ...。

あっ...ちょ...待って...。

待ってくれ！ 頼む！ 待って！

待ってくれ、サテラ～！

んっ...無視しないでくれ！いなくなったのも、言うことを聞かなかったのも俺が悪かった！

でも、俺も必死だったんだ！

あれから盗品蔵にも行ったんだ。けど、会えなくて...

自分のことばかりでごめん。でも、無事で良かった、サテラ...

エミリア あなた、どういうつもり？

スバル えっ？

エミリア 誰だか知らないけど、人を嫉妬の魔女の名前で呼んで、どういうつもりなの！

スバル あっ...。